

新本社工場

完成!

兵庫県三木市の神港工業（☎ 0794・86・2411）は、この春に新本社工場を完成、時代のニーズに対応したモノづくりを推進。日本の大手プラントメーカーをしっかりと支えている。

プラントメーカーを変える

「もともと神港工業の社員でしたが、2008年に引き継ぎ、今の体制をつくり上げました」と吉本泰裕社長。今年3月に三木市細川町西806から同180へ新本社工場を移転。旧本社工場と富山県北陸工場の3工場体制に生産力を増強した。

大手プラントメーカーを中心に大型構造物の製缶部品を得意とする。単品30トン前後の特注品を製造、組み立てから試運転まで行い、パーフェクトな大型部品を納入する。

従業員は約30人。少人数の体制で、大型構造物に対応出来る工場は少ない。「コスト競争力もあり、大手メーカーが発注しやすい協力工場です」と自信を持つ。

環境施設のダクト、コンベアなどを手がけフル稼働の状況。新本社工場は、「将来の需要が見込まれるエネルギー関



特注品を製造 組み立てから試運転

兵庫県三木市 神港工業

連設備のニーズに対応しました」と。

2020年以降の産業界の動きを見据えて、今から生産体制を整える。営業は吉本社長が担当。現場で働く職人さん個々の仕事の段取り、能力を見極めながら営業。

「現場でやってきましたので、早くやる方法は分かります。工場100%稼働を目指しています」と。残業は午後7時まで、それでも納期に間に合わせる段取りは正に神わざだ。年商8億円弱で、黒字経営を突っ走る。

時代に対応したモノづくり